

日本高齢者大会inさいたま 神奈川から174人参加



第38回日本高齢者大会inさいたまは、11月11日～12日、「まちから村からの連帯で一人ぼっちの高齢者をなくそう」をメインストップで呼びかけ、埼玉県・大宮ソニックシティを会場に開催しました。全国からのべ2300人、神奈川から、実数で174人参加しました。

**芝田英昭さんが講演
「社会保障制度をめぐるあゆみと教訓」**

12日の全体会は、オープニングが太鼓集団「響」の若者たちの演奏に続き、全国の参加者による300人の大合唱が圧巻でした。

記念講演として『戦後80年・社会保障制度をめぐるあゆみと教訓』と題して芝田英昭

軍事ではなく社会保障の充実こそ平和の道

する人を「不良」として強制的に中絶・不妊手術を行うことを容認、「朝日訴訟」を経て、その後の社会保障制度をめぐる変遷を話されました。

特定の障害・疾患を有する人を「不適」として強制的に中絶・不妊手術を行うことを容認、

特定の障害・疾患を有する人を「不適」として強制的に中絶・不妊手術を行うことを容認、

会審議により加筆され

た憲法25条1項が国

憲法と社会保障の関連

さんが講演。

戦後の占領初期の対

日政策として成立した

旧生活保護法と日本国

憲法と社会保障の関連

がGHQ案にはなかつ

てGHQ案にはなかつた憲法25条1項が国

会審議により加筆され

た憲法25条1項が国

会審議により加筆され

た憲法25条1項が国

会審議により加筆され

た憲法25条1項が国

会審議により加筆され

た憲法25条1項が国

会審議により加筆され

た憲法25条1項が国

会審議により加筆され

た憲法25条1項が国

神奈川県高齢期運動連絡会



第283号

2025年12月11日

神奈川県高齢期運動連絡会
横浜市中区不老町1-5-11-4F
TEL 045-663-4061
FAX 045-663-4062
発行者：編集委員会



**軍拡、アメリカべつた
りの政策変えないと**

晝間 富雄さん



(年金者組合鶴見支部)

うこと。今のうちに変えていかないと大変なことになると思います。

軍拡と社会保障との関連では、軍拡、アメリカべつたりの政策を変えないと、アジアのなかで生きていけないことが理解できました。ありがとうございます。

大会に参加してみようと思いました。自分自身も入院などの病気になり、日本の各地から集まる全国大会などあまり参加しなかったので、日帰りで行ける埼玉に希望しました。

私は2日目の全大会のみの参加でした。オーブニングセロモニーは、太鼓集団による演

いてる中、身近にある、健康保険の問題や年金の問題など、今まであまり関心がなかったのですが、入院するよう

が行われました。

記念講演は、元立命館大学教授の芝田英昭先生でした。テーマは、「戦後80年『社会保障制度をめぐる歩みと教訓』」でした。話を聞いてる中、身近にある、健康保険の問題や年金の問題など、今まであまり関心がなかったのですが、入院するよう

たち国民もしつかり政治動向を見極めていくことを改めて学びました。

83歳になつた今でも、頑張ることを再度確認しました。

最後に中央実行委員会事務局長の畠中寿昭さんから来年度の高齢者大会に向けての飛躍的な発展をめざそうと、以下の3つのスローガンが確認されました。

①全国各地で「一人ぼっちの高齢者をなくそう」の運動を広げよう。

②日本「高齢者人権宣言」を力に、国連高齢者人権条約制定の機運を高めよう。

③平和と人権、福祉国家日本をめざす協同を広げよう。

記念講演は、1991年に第ベストセラー「豊かさとは何か」を著した暉峻淑子さんです。講演の題は、「高齢者の人権はどうなる? う豊かな社会と人生を生き抜くためにも」です。日本高齢者大会でも学習講演し、大好評でした。

1年間に第ベストセラー「豊かさとは何か」を著した暉峻淑子さんです。講演の題は、「高齢者の人権はどうなる?

う豊かな社会と人生を生き抜くためにも」です。日本高齢者大会でも学習講演し、大好評でした。

**政治動向を見極めて
いくことが大切**

鈴木 雅次さん
(北央医療生協)

日本高齢者大会に参加して

日本の経済の矛盾がよく分かりました。社会保障の問題、私たちが頑張らないと大変なことになると思いました。

奏で、迫力があり元気の出る素晴らしい演奏でした。次は300人を超える大合唱で若い頃よくうたつた歌で、懐かしく感動的でした。

久しぶりの全国からの参加者たちの大合唱で、とても感動的な開会セロモニーでした。

その後、開会宣言が力強くおこなわれ、主催者などからのあいさつ

最近は、暗い話が多い中、久しぶりに全国人たちに気づいてもら

いた。支配勢力は若者と高齢者の間を割こうとしています。今一番大事なのは、これから

の若い人たちが大変になっていくことを若い人たちに気づいてもら

い、呼びかけに応えて、1年かけて取り組み、第39回日本高齢者大会in大阪へ結び付けていきたいと思います。

多くの方の参加をお待ちしています。



と高齢者の間を割こうとしています。今一番大事なのは、これから

の若い人たちが大変になっていくことを若い人たちに気づいてもら

い、呼びかけに応えて、1年かけて取り組み、第39回日本高齢者大会

大会in大阪へ結び付けていきたいと思います。

2月6日「輝け!高齢期のつどいin藤沢」への参加すすめよう!

「戦後80年 守ろう!平和と高齢者の人権」分断・対立を超えて豊かな社会へ」をテーマに、来年2月6日(金)11時から藤沢市民会館で、「輝け高齢期のつどいin藤沢」を開催します。

第18回 輝け！高齢期かながわのつどいin藤沢

戦後80年 守ろう！平和と高齢者の人権

～分断・対立をこえて豊かな社会へ～

2026年2月6日(金) 11:00~15:30 (開場 10:30)

会場：藤沢市民会館 (JR 藤沢駅南口) *午後は 13:30~

午前の部

オープニング・記念講演・基調報告・特別報告

記念
講演

高齢者の人権はどうなる？
～豊かな社会と人生を生きぬくために～



てるおか いつこ

暉峻 淑子さん

埼玉大学名誉教授・経済学者

1991年「豊かさとは何か」を著してベストセラーに。居住地の練馬区でさまざまな問題を地域の人たちを話し合う「対話的研究会」を長年にわたって毎月開催。98歳を迎える暉峻淑子さんが、みなさまにお話します。

午後の部

文化企画 (うたごえ合唱、腹話術ほか)

介護学習企画

*同時開催のため両方の参加はできません

資料代 500円



個人申込の方は下記に必要事項を記入し、このチラシをFAXしてください

氏名

電話

住所

団体
申込

必要枚数を申込先(主催)にご連絡ください。神奈川民医連各法人はエクセルファイルをお送りします。県連事務局担当者へメールに添付してお申込みください。チケットは現金扱いです。精算は団体ごとにチケット半券分(売上分枚数)とチケット代金(現金)の両方を主催者へお支払いください。

問合せ
申込先

輝け！高齢期かながわのつどいin藤沢 実行委員会(主催)

電話 045-663-4061 (fax045-663-4062) (担当 伍)